夕刊 磐城新聞
七月九日發行
發行所 磐城新聞社
日曜祭日翌日休刊

法燈は輝く 三
―因にヂャンガラ念佛踊について―
鈴木積善

三、ヂャンガラ念佛踊の復興

最近西洋文化の沒落と共に東洋文化が世界の光たらんとするに至り、我が日本はその盟主として獨自の力と輝きとを示して來た。從來何でも他人の麥飯はうまいものとときめてかかつてゐた謬見をすてゝ正しき自己の姿を凝視するときとなつた此處に復古的研究と郷土愛の高揚といふことが叫ばれてゐる。私はこの際宗教的立場からも郷土藝術の高揚保存といふ點からもヂャンガラ念佛の復興を高潮したい

私は嘗てをどり禮讃といふ左の一文を某紙にものしたことがある

×

子供はよく歌ひ、よく踊るものです。言葉がよく解らない幼な兒でも、リズムはすぐに覺ゑます。そしてそのリズムは必ず踊りとなつて上機嫌のときは獨りで歌つたり踊つたりします『こんなよいことがあるよ』といふと『アラ嬉しいわ』と少女達は小躍りします。雀躍とは純眞な子供達に於て本當に現はれることとです

×

だがこの雀躍の姿は萬軍を叱咤する英雄にも見られます。中學時代によくこんな話を見たり聞いたりしました。陣中で閑を得て、棋を圍む猛將が戰勝の報を聞いても、唯『ツ、』と、いつただけで神色自若、鵜鷺を識はしてゐます。けれども一度その對局がすむや否や人影なき營庭に出て思ふ存分踊り廻り、下駄の齒の折れるのも知らなかつたといふことです

×

經典の中には歡喜踊躍と言ふ言葉がよく出ます。釋尊の說法が終るとその座に會した人々は『歡喜踊躍して禮をなして去る』と書いてあります

丁度雲霧が一時に消え去つたやうに、憂ひ、悲しみ、惱み、悶えが解消した場合は喜んで踊り出すといふことは當然のことでせう

喜び、嬉しさがその頂點に達した場合、どんな人でも踊い形として現はれることは私共の本性であります

×

踊りのある處、必ず、喜び、明るさ、朗かさがあります。喜びが踊となると同時に、踊々とによりても亦、喜びを感じ、朗かになることゝ事實です

或る人が、をどりの會へ入會した動機としてこんな告白をしました『私は印刷工場に毎日働いてゐますが休に大空を仰いで大聲を發することがたまらなく嬉しい。況して何もかも忘れて踊つたらどんなに愉快であらう』云々と

現在私共の仕事は日に增々繁雜になつて參ります。それに神經が多すぎて骨惜みをしたがります。神經は極度にいらいらして落付きを缺いてゐます。其處には焦燥、憂鬱、倦怠があるばかりです

踊りのある處、そこには明朗、元氣、精進があります。されば こそ、理窟なく踊りを禮讃するのです。この踊りによる、朗かさ、明るさを、毎日の仕事の上へに、生活の上へに現はして行きたいのです

その踊りは優雅な簡易で誰にも何處でも踊、えるのが必要です。その意味で家庭踊り、敬意をふしきます。お盆も近づきました。盆踊りの普及發達を希つて擱筆いたします

磐城歌壇
新妻久滿夫選

『ほたる草』 龍子

○雜草に交りて一つほたる草、いとしかりけり山がけの道

○花の色うすくあれども空に似て、淸らに澄めるほたる草かな

○ほたる草こぼれてあれば忘れゐし、哀愁などの胸に湧き來る

○いと弱きさだめのゆゑかしみじみと、心ひかるゝほたる草かな

小評 作者は詠歎の境地に充分ひたりたいとあせつてゐるが、表現がどうも弱く、表面ばかり歌つてゐる爲に、魂に觸れる或る響がさ程に感じられない。殊に第三首の哀愁を蘇らせ樣とつとめてゐる歌などは内面的に何物も感じられない。『哀愁などの』も不可であるが『湧きくる』は更に弱い表現である。

芝蘭集 十

疎雲 直胤

遠山雪 みはるかす大海原のいや涯に島があらむ雪のかゝれる

假松 嶺は風强ければ假松は枝指し交しひくく延びたり

石 そのかみの在りし宮居の故事を昔に結びて立てる石かな

白山室堂 夏さ中雪の白嶺の宮の屋に綿布子着て榾火圍める

若鮎 閃きて又閃きて速き瀨を逆らひにつゝ若鮎さ走る

直胤妻 千代子

花稍散 花咲かば訪はんと言ひし父待たてみ園の櫻散り初めにけり

燕 垂髮兒は面白しとて數へけり翼休めて並ぶ燕を

歡

職人勝鬨上げて故鄕に歸る今日こそ嬉しかりける

松林 桑の畑に續く千本の松林枝樣々の面白きかな

勅題 曉鷄聲 昭和七年 函峯 直貞

○天の戸も明けよとや鳴く庭鳥の聲も勇まし年は來にけり

朝海 昭和八年

○朝日影いや照り渡る海原の波も豊の光寄せ來る

伊勢海

○神々し懷かし更に淸々し朝日の昇る伊勢の海原

頌德碑建立 直胤

○年まねく仕へし誠現れて今し齋庭に石碑のたつ

千代子

○住吉のみ前に建てる石碑を神もうれしとみそなはすらむ

歡喜之叙情（詩）
鳴海杏一

1
風は狂はしく泣き、夜は冷い
二本の並行線は法則の束縛を受けて
喊聲突進した
遙か彼方の丘の上には颶風を他所に
花園が過ぎにし幻をすなどつて居た

2
丘の前方で颶風は旋回して方向を變へた
並行線の一本は彎曲した
花園には喜びが高らかに囀り
妙唄を歌つて居た

3
風は靜寂を置去りにして行つた
並行線と曲線とが苦しげに
花園の一點に或角度を型造つた
其頂點からは泉が湧き出た

4
ゆるやかな圓舞曲（わるつ）が雨の如、ふりそゝいだ
泉は情熱の魂を投げとばした
爽やかな空氣が上氣して
踊り出した
今色、翼をした鳥が一羽
中天高く舞つて居た

暦の今日
7月10日
△始めて學士號授與（明治一二）△樺太上陸軍近藤岬を占領す（同三八）△貴族院有爵議員總改選△五ヶ年計劃の農村自力更生策農林省で大綱決定（昭和七）△支那の戰區は支那官憲の手に接收することゝなり皇軍撤收を開始す△日英、日印兩會商に出席の我が民間棉業代表決定（同八）

○

マスゲーム双眼鏡で子を探し 正治

どこやらに河鹿鳴かせて住む家を、つゝみて綠もえたちにけり 生田蝶介

講談 浪人長屋 (134)
日岐武志作 月草道子畫

少年と山猫

が、その時は餘す四人の男が中へ飛び込んでゐて、一樣に棍棒を振りあげてゐたから、權吉はさッと引下がらねばならなかつた

『畜生ッ、小僧ッ子の癖しやがつて、とてつもねえ眞似をしやがるなッ』

『どうするか覺悟しやがれッ』

『この山は、おれたちの繩張りだぞ』

『小僧ッ、素直にその阿女を渡してしまへ、でなきゃあ打ちのめしてしまふぞッ』

日燒けしたドス黑い顏が、ギロリと不氣味な眼か、狼のやうな髭面か、口々に毒づいて權吉と靜香を睨んだ

『ハハハ……』

靜香を後ろへかばつて權吉、わざと不敵な高笑ひをしてみせた

『ふン、小僧ッ子とは、よくいつた。だが、小僧ッ子のこの樫の棒には、鐵のしんが通つてゐるんだぞ。こいつが本氣になつてうなると手前らの汚ねえ首がポーンと飛んで、草津の湯の中へぽちやんと、湯治に行かうつてもんさ、ハハハ……首のあるうちにとつとと歸れ歸れ、山猿どもつ』

權吉、内心は大いにびくびくものなのだが、弱味は見せぬ

『や、山猿だと。乳のにほひも取れねえ小僧ッ子のくせに、山猿だと、ぬかしやがる』

『山猿でなきや何んだ。狼にしちやもつたいなさすぎらあまづ山猫かな、ニヤンとないて見ろ』

『ニヤ、ニヤンとなけだとこの野郎つ、いはしておけば、なにをぬかしやがるか、わかりやしねえつ』

『ふん、天下の豪傑、おいらの名を知らぬか、樫の棒權吉さまの名を聞けば、妙義山の峰だつて少しは傾かうといふ、有名な權吉さまを知らぬとは、さてさてやつぱり山猫だなア……』

權吉、空元氣だが仲々負けてはゐない

『おやッ、丸太棒か、天びん棒か知らねえが、べら棒な効能書きを並べやがる』

『えゝッ、面倒ッくせえやッちまへッ』

『合點だッ、それッ』

三人が同時に權吉目がけて打つて來た

一人は、ぢりぢりと横から靜香の方へ迫るのだ

『えいッ』

權吉はひよいと身を外した。つぎの瞬間には樫の棒が、風車の如く唸りを生じて、ぐるぐるッとすさまじい勢ひで廻つてゐた。得意の絲使ひだ

男たちは、さすがにちよいとたぢろいた

一人が、いまいましげに叫んだ

『さア來い』

『やつちめえつ』

太い薪雜棒が、ぶーんと眞正面から、打つてきてゐた

『えいつ』

と、叫んだ權吉

樫の棒の風車に、薪雜棒がガガーンと觸れたかとおもふと、びゆーんと飛んで男はひよろひよろと前へのめつた

『ちえつ』

『畜生』

左右の二人が狼の如猛つて荒れて突いて來た

『阿女奴ッ、てめえに素直になるんだッ』

靜香の方に向つてた一人は靜香の後ろから羽搔締めに抱きついて、懷劍をもぎとつてゐた

『あーッ』

權吉は靜香のさけびをきいたが眼前の二人を持て餘して今は壁際へ後じ去つて肩で喘いでゐた

電話六四〇番
皆樣のタクシーへ……
此度は夏にふさはしいすがすがしい色彩のニーアクシヨン裝置が入車致しました、自動車の御用命は電話六四〇番を御呼び下さる皆樣を新車と共に從業員一同御待ち申して居ります。
新車も揃ひましたから遠乘の御用には特に御相談に應じます。
尼子タクシー
電話六四〇番

外科全般
特ニ内臟外科及ビ内、外、兩域疾患
醫學博士 渡部義夫
小兒科、内科
女醫 渡部きい
平町役場前、電話（二七七）
入院應需
渡部外科
診療午前八時ヨリ午後九時迄

貴方の御家庭に
お手不足は御座いませんか
本會を御利用下さい……
直に家政婦を派出します。
親切叮嚀…料金は極めて低廉です
姙産婦の御家庭 御病人の付添 炊事や雜用 お留守居番 年寄やお子さんの付添
平町紺屋町二（電話二一二）
上原家政婦會
會主 產婆 上原通子

御融通案内
一、掛金擔保
一、不動産擔保
一、有價證券擔保
利子日歩一錢五厘（手數料調査費等頂きません）
但し當會社無盡の加入者に限ります
湯本信用無盡株式會社
電話四七番
振替仙台七九六四番

生花教授
池ノ坊 生花を懇切丁寧に御教授いたします、お遊びがてら御出で下さい。
平町四丁目和泉屋旅館
須藤まつの

「貸切り」専門優良車
乘心地の超特快適な三四年型デラツクスセダン着
何卒御用命願ひます
平町四丁目
鈴木自動車部
電話二一七番

毎度御引立を戴いてゐる
藤寅では例年通り
冷タイ美味しい飲物!!
アイスクリーム アヅキアイス ミルクセーキ ソーダ水 ミツ豆 其他氷水各種
相初めました是非……夏の夕御散歩歸りに御立寄り下さい。
出前迅速
平一丁目
藤寅
電話一四一番

磐城家庭婦人會
皆樣方の御手不足を補ふ家庭婦人會が出來ました
どうぞ御試用下さいませ。
親切。迅速。
◎會員募集（入會金ト維持費ハ申受ケマセン）
平町字田町五（元郵便局ウラ）
駒井ヒデ
電話三九九番（呼出）

吸入用酸素 純度99%
度量衡 モノサシ マス ハカリ
計量器 体温器 寒暖計
◎秤ノ取替・錘・分銅・糸・直シ・改致シマス
關内藥局
電話四〇番

新車御披露
乘心地のよい三四年式デラツクスセダンが入車致しました
貸切の御用命の際は是非電話六八五番へ御試乘の程願ます。
平町貳丁目
三井タクシー
電話六八五番

選手其他應援團等で外來客は千人内外か
縣下中等野球愈々迫る

月曜論壇
平町と大運動場

縣下中等學校野球大會の催しに對し各方面の協賛共鳴が如何に深甚なるものあるかは目下翕然として集まりつゝある寄附金の成績等に徴しても瀉ろに其間の眞相を窺知するに充分なるものがあり、其間一般が質實剛健なる國民精神の培ひ纔々と脈管を躍らす体力増進上の基調をなす運動に當面し極めて深刻なる關心を拂ひつゝある事を證據立てられた事は時節柄寔に同慶に禁へざるものがある。由來該大會は外來滯留者が選手、應援團等を併せ實に千餘の多數に上り、因て以て地元の被る恩惠が蓋し絶大なるものある關係上我が平町が適々間然する處なき近代的球場を有せざるを理由として其の開催地を他方面に奪取すべく中通り邊の猛烈な反對運動があつたもので、さらでだに新興躍進の都市に相應しい運動場の必要を痛感して居た吾人町民は箇記の反對を以て單に利益の爭奪に出發したものとのみ思はず、夙くから一部によつて唱導されつゝあつた運動場の實現、闘し之を契機として深甚なる考慮を回らすの要がある、而も平町壯丁の体質は此年著しき低下を示し、今年に於ける徴兵檢査成績の如きは少くとも識者の寒心を招ぎつゝある程に町民大衆の健康を培養する運動場の急速設置は之の意味からしてもお互眞劒な考慮を拂はねばならない、若し夫れ之れが完成の曉には向來の縣的幾多の催しをここに招徠し町の繁榮に資する事鮮かならざるは勿論、常住之を活潑々地たる一般の跳躍に開放するなれば不知不識の裡に少壯町民の健を齎してそこに明朗なるスポーツ。タヒラを建設し得る事は最も公算に富む理論として何人も首肯せねばならぬ處である、わが平町は今や都市計劃が着々と進捗し遠からずして立派な近代都市が出現するのであるが同時に之と均衡のとれた運動場が出來るなれば錦上更に花を添ふるものであらう

縣下中等學校十七チームの爭霸戰、地方の好球家をしてマニア、ファン、ファネットに導く野球界の超特豪華版が展開さるる日は愈々茲二旬の目睫に迫つた、晴れの大會目ざして平陽の天地に乘り込む選手及附き添ひ應援團等凡そ一千名、時節柄海へ憧れて四倉へ泊まる山育ちの一部と湯本温泉宿泊の百餘名を除く外大部分は平町に泊るので町の旅館は何れも之等の宿舍に充てられ大賑ひを呈するは勿論之等多數の外來客を迎ふる大會前後の兩三日は各方面とも相當の活氣を見する事であらう、町では之の機會に於て平町をより良く印象して貰ふ爲に協賛會の事業として宿舍の斡旋をはじめ選手其他の送迎自動車を提供すべくその分丈けで既に三百圓の豫算を計上したとある

平署犯件數
比年檢擧數激增

平署に於ける既往三ケ年間上半期の送致並に檢擧件數左の如く今年檢擧數は昨年に比し約二倍一昨年に比較すれば約三倍と云ふ縣下一の好成績を示したが犯罪種類は依然窃盗が首位で横領詐欺等がこれに次いで居る

	七年	八年	九年
送致	二九〇	三一八	四二〇
檢擧	七七九	一、〇三三	二、三九八

電信軍快勝
局長盃爭奪野球戰

既報の如く一昨、昨七、八兩日に亘り小商、第一兩校庭に於て催されて局長盃爭奪戰中局内歡式野球試合の戰續左の如く六時十五分閉戰局長盃は昨年の優勝チーム集配を破つた電信が獲得。

一回戰
集配16—2郵便

二回戰
電信13—1工務
集配19—8保險

決勝戰（電信先攻）

集	4	0	1	2	1	0	0	8
電	0	0	2	3	0	1	11	17

町。。。。役場員敗る。平法曹團對役場吏員の野球戰は一昨七日平第一校庭で行ひ十七對六のスコアで法曹團の勝

貯金誤拂事件の控訴公判近づく
今日平支部で證人調べ

自分の伜房吉が貯金通帳印鑑を盜み出し千五百圓を平局より拂戻した事から高久村大字上高久鈴木太吉（七五）が國家を相手取り平支部に右金額の請求訴訟を提起し國家が敗訴した事件、仙台遞信局よりの控訴により目下宮城控訴院で審理中であるが同院の囑託を受けた平支部では今九日事件發生當時の關係局員二名を證人として喚問、近く公判か開かるゝものと見られるが去月十四日も個闘事件のあつた同家の事とてその成行を注目されて居る

宙に弧を描いて美しクレー散華
昨日の杉山鑛射擊會成績

内郷村杉山炭鑛御嶽社例祭は昨八日の公休日を卜し盛大に執行されたが餘興として午前八時から磐炭綴坑山神社前に行はれたクレー射擊大會には仙台、原の町等の遠方から迄參加數十名に達し、各神技を發揮したが成績次の如く（午後五時終了）會長横山署長より賞品を授與し萬歲三唱閉會後平町松ケ岡公園ときわ亭に於て懇親宴を催した

1　二〇—馬目太平治（内郷）
2　二〇—杉山今朝吉（同）
3　一八—佐藤留三（同）
4　一六—野又勝藏（仙台）
5　一三—廣井君（原の町）
6　一三—木幡安治（同）
7　一二—齋藤久義（川前）
8　九—松崎叶（永戸）

個人優勝　1　二四—馬目太平治、2　二三—杉山今朝吉、3　一〇—佐藤留三

川部と勿來からトンネル改修陳情
交通上危機に瀕す

町村長連署陳情候也

川部村大字三坂地内延長四十米、高さ四米五の隧道は最近内部に大龜裂を生じて屢々崩壞し且つ天井が低い爲大形自動車及積載量の多い車馬が通れぬので『危險注意』を標示し、西側の勿來町大町窪田地内高さ二十二米の急勾配を有する堀割隧道も前記同樣の狀態で同地林産物搬出上不利不便勘くないので關係兩村から此程縣當局に左記陳情書を提出した

（前略）—兩所斷岩は前後八分の一の急勾配を有す（中略）無盡藏の豐庫を有する本路線の奥地林産物搬出上の不利不便不勘に付本郡南部産業開發並に農村救濟の目的を以て實地御踏査の上時局匡救事業として改修工事御施行あらん事を關係

體操講習會
來月の町に開催

既報—体育協會石城支部主催の体操（体操、競技、球技）講習會は來月二十八日から三日間左記講師により平第一、同第二、平商三校庭で開かれると

縣体育主事千田三省、東京文理大競技監督東京府立五中教諭高田通、喜多方中小林武志、磐中下山田尚方

。。。。豐間講堂新築。豐間村では去る六日の學務委員會で校舍を廢し更に前庭敷地を買收して百八十二坪（市七間、高さ二十六間）の大講堂を建設する事に決定近く村會に提案すると

夏井改修 潰地折衝
月末迄に決定せん

三ケ年繼續の夏井川改修工事は既報の如く關係地主の承諾を得着工したが今年度に於ける潰地は

神谷村六町七段一畝二十五步（一一六名）飯野村四町七段步（一二六名）平窪二町八段二步（七二名）平町九畝七畝十二步（二二名）赤井村七段二十五步（一九名）夏井村三段四畝六步（一三名）外新川河口の四段（六名）

合計十六町六段四畝二十步（二千餘筆）此の關係者三百八十四名で平窪、平、赤井、夏井の一町三ケ村は買收決定したが未決の飯野村では此程地主會を開き委員十名を選任地價の交渉に着手、神谷村では明十日地主會を開きこれ亦委員を擧げる筈であるが同事務所の見積り地價一段步田三百圓、畑二百圓に對し地主側の腹案は幾分高價らしく今月末頃までには交渉も纒るものと觀られて居る

國道鋪裝着手
平町

國道鋪裝工事は既報の如く今九日から人夫十四名で着工したが今後本格的工事に入れば一日百餘名を使役するので職業紹介所では過般登錄した夏井川改修工事就勞希望者の中から使用する事になつたと

。。。。署通側溝起工。平町二丁目菊屋樂器店より同町カフェー平樂間の側溝工事（工費二百五十圓）は町からセメント百袋を寄附し愈々近く着工する

愛谷江筋を挾んで水喧嘩の準備工作
危い處を其筋が解散命令

昨八日午後十一時半頃平町月見町地内愛谷江筋を挾み篝火を焚き乍ら手に手にえものを携へた約三十名の農夫が對峙してる物々しい形勢を平署員が發見取調べた處右は平町鎌田町高島亥之吉外六名及び高久村下高久鈴木喜一外十七名で同江筋より受くる灌漑水の事から言ひ爭つて居たもので危い處を說諭解散せしめ今十日關係者の取調べを行つた

。。。。村長補選。平窪村では前村長村會議員出子英吉氏の死亡による補欠選擧を明十日執行するが目下の立候補者は小野熊之助氏一人で無競爭になるらしいと

早稻に害虫
郡農會で極力警戒

郡下の田植えは此程草野、下神谷方部の水不足地を最終として完了、目下八九、に延びて居るが最近螟虫（俗稱苗虫）が發生し稻の萎縮病を併發する虞れあるので郡農會では今年の如き水饑饉の年に多い稻旱害病などと併せ警戒中である

勿來の海は招ぐ
町が主体で最善を期し
浴客吸收の諸施設

勿來町では愈々海水浴季に入つたので大々的宣傳をなすべく既に各方面にポスターを配布し一昨七日は町役場に於て町議、役場、消防、青年、驛、自動車業者關係者他が會合種々浴客吸收策の協議の結果無料、有料脫衣場其他の完備した浴場を來る二十日迄設置する外左の如き膳立てで浴客を招致する事になつたと

七月廿日—九月十日迄自動車の定期運轉（午前七時—午後五時）有料脫衣場（維持費一人宛十錢）風呂場の特設（自動車業者出費　乘客は入浴無料、他は一人五錢）貸間五〇收容人員二〇〇名、救助船常設

各濱閑散
天候に祟られ

昨日曜　浴場開き

昨、今兩日は些か低下して八十度前後を上下して居るが一昨日迄の炎熱、郡下各濱では昨八日の日曜を期し一齊に脫衣所を開始したが朝來の曇り勝ちな天候に祟られて一向に人出が無くそれでも平驛よりの四倉行きは九十三名で内子供三十三名は平日の三、四名に十倍して居た

。。。。退職收入役慰勞。永戸、箕輪組合村では此程滿期退職した收入役遠藤宗重氏に慰勞金三百圓並に記念品を贈る事になつたと

優しい贈り物に心からの感謝
第二校へ禮狀の數々

平第二校の花祭り會は既報の如く極めて盛會裡に昨八日開催、町内二十四病醫院入院患者にも夫々兒童から花束と成績品を贈つたが兒女らの純情に動かされた病人からの禮狀は校長の机上に山をなす有樣で何れも左記の如く感謝の辭に滿ちたものである

—病床に呻吟する私達にとつては自ら心を慰め又は疲勞を癒する事を得まして何よりうれしく感ずる次第であります、私共は花の如く清きそして美しい心の持主たる兒童諸君の斯うした御見舞を受けては一日も否一刻も早く全快しなくてはならないと力強い信念を抱かされました、尚御恵與下されました兒童諸君の作品結構な出來榮へ有難く拜見致しました

虚弱兒童の爲に新舞子で臨海校
平町教育會の計劃

平町教育會では小學校の虚弱兒童養護施設として大体昨年同樣來月一日より雨天の日を除き約一週間新舞子で臨海學校を行ふが三小學校で約六十名あり午前七時半平驛前から大バスに分乘五時半同所に解散するもので行事は、ラヂオ体操、自由遊步、學習、散步、午睡、川遊び等であると

。。。。三坂村議補選。三坂澤渡

無一文で徹宵豪遊
江名の常習男突き出さる

昨八日午後一時頃小名濱町橋本料理業トキワ屋事相澤虎松方へ登樓した青年が酌婦二名を相手に今晩一時迄二十七圓餘の大豪遊を試みいざ勘定となるや懷中無一文で平署につき出されたが此の男は江名町南町生れ無職畦義雄（二四）と自稱無錢飲食の常習男

。。。。通話區域擴張。平局では來る十一日より左記の如く通話區域を擴張する

岩手縣嚴美—六十五錢
宮城縣長根—六十錢

學校彙報

。。。。第一同窓會協議。平第一校同窓會は來る下旬開會するが今九日午後一時より役員會を開き期日、餘興等協議後役員補欠選擧を行つた

。。。。郡南兒童競技。川部小學校では近く開かれる郡南聯合小學兒童競技大會に出場すべく目下係訓導指導の下選手詮衡中である

。。。。平商職員見學。平商校職員一同は昨八日の休日に豐間、辨才天、燈台、築港、江名、小名濱各漁港等見學を兼ね淸遊を行つた

。。。。標本寄附。平町才槌小路酒井艶次氏は今九日平第二校に在米中アラスカの高山から蒐集した各種鑛石を敎授資料として寄附した

。。。。同僚から盜む。勿來町大字高萩字淵澤生れ日本炭鑛出會飯場内赤井村大字高萩字淵澤生れ同鑛雜夫狩名安（一九）假名—は今春三月下旬頃より同宿の坑夫數名より衣類數十點を窃取した事發覺昨八日植田署に檢擧され餘罪ある見込みで取調べ中

下駄屋波に呑まる
昨日勿來で水の犧牲

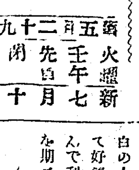
勿來町關田下駄商山形彥吉（四二）は昨八日午後一時頃同町九面海岸で遊泳中誤つて渦潮に捲き込まれ居合せた漁夫が直に飛び込んだが間に合はず傳馬船や地曳網で目下青年團、消防組員其他村人總動員で搜査中である

。。。。統計調査打合。平町本年牛産統計調査員打合會は來る十四日午後一時より役場會議室に開く

添ふ迄は歸らぬと駄々

埼玉縣南埼玉郡小林村農喜一弟馬中節造（三四）は最近東京市牛込區に轉住した姻戚の野川ミヤ（一九）と夫婦になれぬのを悲觀し昨八日早朝喋し合せ平町月見町の親戚を頼つて來たので直に喜一が迎へに來たが添ふ迄は歸らぬと駄々を捏ねたので驛前派出所鈴木部長に說諭を乞ひ午前十一時五十分で送られた

電話買ひ度し　姓名在社



舊五月二十九日　火曜　新七月十日
壬午　先負　閉　室宿

諸判定鑑定　東京市本郷區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神宮館

△一白の人　無謀の計畫或は短慮急功を欲すれば失敗す△二黑の人　運途盛にして希望計畫は成功の域に達せん△三碧の人　急ぐは不利急がずとも目的をくわん徹し得べし△四綠の人　依頼心を起さず自ら勵むときは發展榮達す△五黃の人　質素を旨とし驕りに長ぜざれば家道繁榮す△六白の人　首尾徹底し得ざる日過ちなき樣慎重を要す△七赤の人　氣運盛衰しあくせくするのみにて何等の功なし△八白の人　從來の雜みは一掃せられて好運に向ふべし△九紫の人　進んで利を思ふより退て損失せざるを期せ

十日
日出　四、三三　月出前　二、四八
日沒　六、五九　月沒後　六、〇六
滿潮　前三、〇五　後六、一五　干潮　前一〇、四〇　後一〇、五五

中元暑中　御贈答洋品
◎商品券をはじめ、氣のきいた御贈答向洋品は定評ある弊店の品をお選び下さい……。
海へ！　海水浴洋品
◎海水着。海水帽。浮袋。その他3・4年型が豐富に取揃ひました……。
より良くより安き　㊣　中野洋品店　平二・電五三

魂の這入つた　自轉車
フタバ式リヤカー發賣元　フタバ商會　平・新川町・月見橋際

耳鼻咽喉科專門
平町田町七〇番地
入院隨時　病室完備（看護婦見習一名入用）
醫學士　山内亨吉
山内醫院　電話　六九一番

お醬油は……ヤマフル
味噌　醬油　たひら正宗　經節　食料品
鍋屋　山崎合名會社　鍋島　縣　平町　電話（營業部一〇番　本店二七番）

明治生命磐城代理店　山崎與三郎